

社オフィス“忍者屋敷風”に刷新

事務機器販売・保守点検 ネットワークトップアシスト



職や休憩スペースとして活用する和室（右が佐野社長）

本社がある伊賀市は「忍者のまち」として知られ、地域に根付いた文化をリニューアルのコンセプトに据えた。

オフィスは5階建て。5階にシェア会議室、4階にシェアオフィスを設けた。事前予約制で貸し出す。オンライン会議対応の個室タイプの部屋を複数用意。牢屋（ろうや）風デザインや隠し扉で入室する部屋がある。企業の採用面接などでの使用を想定している。

自社の従業員が働く2階は、デスクを固定しないフ

内装の色を黒や白のシックな色調で統一。トイレの場所を表すピクトグラム（絵文字）や非常口マークなどグループのデザイン会社が手掛けたものを採用。忍者にまつわる調度品も随所に配置するなど、忍者屋敷を意識したブランディングにこだわった。

会議などで使える大型モニターを複数台設置するほか、インターネットやクラウドシステムなどIT技術を積極的に活用している。

このほど、本社見学の「忍者屋敷オフィスツアー

働き方改革学ぶ見学ツアーも

事務機器の販売や保守点検などを手がけるネットワークトップアシスト（本社伊賀市上之庄1282の2、佐野智成社長、電話0595・21・7211）は、本社オフィスをリニューアルした。業務効率化でIT技術を導入するなど働きやすい環境を整えた。忍者屋敷をテーマに、遊び心満載のユニークな設備も設けた。地元企業を対象に本社見学の受け入れも始めた。地元企業の働き方改革を促し、地域創生につなげたいと考えた。

（四日市・樹田宏行）



従業員が働くフロア

三つのコースを用意。現代のIT技術を「忍術」に結びつけて自社のノウハウを紹介する。伊賀市や名張市の事業者が対象。見学の受け入れは1社あたり3〜5人で、年100社程度の受け入れを想定している。見学は無料。電話予約で受け付けている。

佐野社長は「地元企業に働き方改革を広げて、地域

【四日市】鈴鹿商工会議所がまとめた2023年下期（7〜12月期）の景況動向調査によると、景況感を示す全業種の業況判断指数（DI）は、マイナス22.9だった。23年上期（1〜6月期）に比べ7.5ポイント悪化した。新型コロナウイルス感染症の流行が始まった20年上期以来、7期ぶりの悪化となった。

23年下期景況
7期ぶり悪化
鈴鹿会議所まとめ

岐阜・三重

岐阜支社

岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階

TEL058(266)7576
FAX058(262)6571

東濃支局

多治見市上野町1-75
日映マンションⅢ602

TEL、FAX兼用
0572(23)7812

西濃支局

大垣市室本町2-39
竹中ビル203号

TEL、FAX兼用
0584(75)1289

三重支社

津市栄町4-255
津栄町三交ビル3階

TEL059(228)2545
FAX059(271)6311

四日市支局

四日市市中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA208号

TEL059(354)6116
FAX059(329)5333